

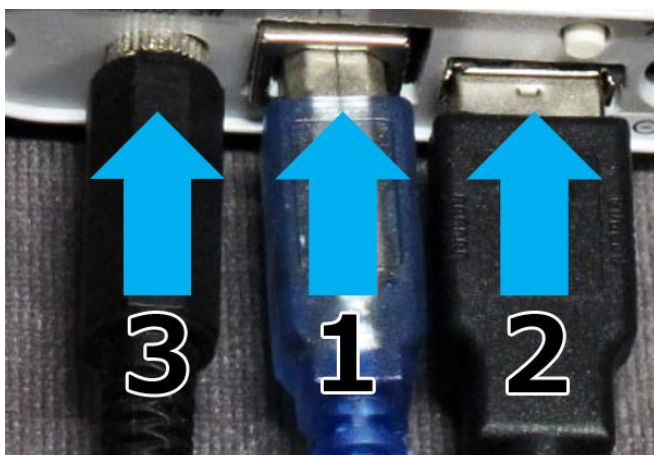
OyaConv210V4 かんたん取扱説明

2024.06.18 Ver.10

ご予約時は、「ご注意・制限事項」を必ずお読み下さい。



接続方法



本体背面

1. PC側USB端子とPC, タブレット, スマホのUSB端子とを接続します。
2. キーボード側USB端子とキーボードとを接続します。
3. リモートスイッチ端子にリモートスイッチ (CoConv) を接続します。

※ iPhone, iPad をご使用の場合には、Lightning USB カメラアダプタを介してPC側USB端子と接続して下さい。

※ リモートスイッチを使用しなくても動作に支障はありません。

使用方法

※設定完了後の使用方法です

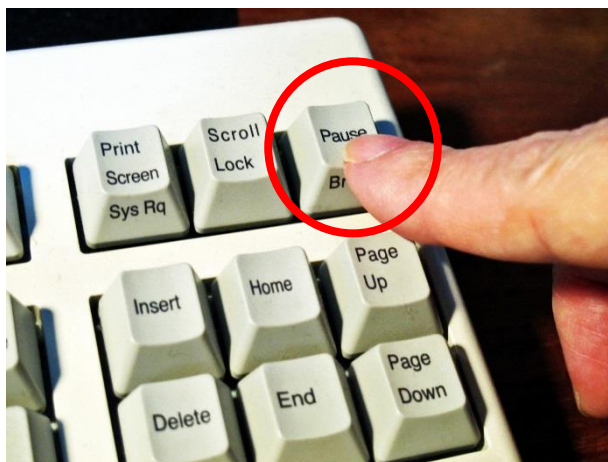


1. 電源ランプが点灯していることを確認します。
2. ご使用になりたいチャンネルをチャンネル表示 LED の色で確認します。
青・・・チャンネル1 (ch1)
赤・・・チャンネル2 (ch2)

※チャンネル切替はチャンネル表示 LED 下の白いスイッチで行います。

3. 親指ボタンを押すとボタンが点灯し、親指シフト配列が使用できるようになります。英数モードに戻す時にはもう一度親指ボタンを押して下さい。

※ リモートスイッチ (CoConv) または**キーボードの Pause ボタン**を押しても、日本語／英数の切り替えは可能です。



付属品

- メモリカード（TFカード、microSD 互換）
- USB ケーブル

ご注意

- ※ 本機で P S / 2 キーボードを使用することは出来ません。
- ※ **複雑なキーレイアウト**を新規に作成する場合には設定料¥5,000- で承っております。まずにご相談下さい。なお、キーレイアウトはユーザー様ご自身でも設定可能です。
- ※ OyaConv 以外の親指シフト環境サポート（パソコン設定など）は出来かねますのでご了承下さい。
- ※ 初期不良（2週間以内）のみ返品、ご交換に対応いたします。
- ※ 製品のご使用によって、又は使用できないことによって生じた付随的な損害（お客様の要求を満たさないために生じた業務上の中断、ビジネス情報の消失などによる付随的・間接的損害、逸失利益など）に関しては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ※ 製品細部の仕様は予告なく変更される場合があります。
- ※ SD カードの読み込みには 1 0 秒ほど時間がかかります。
- ※ P C、デバイスの日本語変換、キーボードそのものなど他社製品についてのサポートは致しかねますのでご容赦願います。

制限事項

- ※ FMV-KB232 は特殊なキーボードのため、現時点では使用することが出来ません。
- ※ **MOBO2** キーボードではキーボードの充電状況によっては動作が不安定になる場合があります、保証はいたしかねます。
- ※ PC等のデバイス側に BLE, Bluetooth4.0 以上の互換があることをご確認下さい。本体に互換が無い場合 Bluetooth4.0 以上の新しい外付dongleを装着してもペアリングは出来ません。
- ※ **キーボード - OyaConvM5 間で Bluetooth 接続**は出来ません。また Logicool の unifying キーボードを使用することが出来ない場合があります。
- ※ **iPad , Mac**用にユーザー様がキーレイアウト設定される場合は、**ANSI (US) キーボード**としてご使用下さい。iPad , Mac 側の設定を JIS キーボードにすると一部キー（アンダーバー、¥キー）がご使用になれません。
- ※ OyaConv210 ファームウェアは買い取りになります。無償バージョンアップには対応しておりません。
- ※ 大電力が必要なキーボード（全キーが光るゲーミングキーボードなど）はご使用になれません。

Mac, Lunux での修飾キー（Control, Alt , Command）同時押しでの不具合は V4 で解消いたしました。